



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 古谷岳夫 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	224,673	△3.4	24,261	4.4	25,427	0.8	13,660	△9.1
27年3月期第3四半期	232,539	4.0	23,236	△5.0	25,236	△7.4	15,028	△12.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 5,549百万円(△77.5%) 27年3月期第3四半期 24,612百万円 (5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	60.21	60.12
27年3月期第3四半期	66.26	66.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	416,440	218,022	51.2
27年3月期	399,512	215,631	52.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 213,391百万円 27年3月期 211,217百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	4.1	32,000	13.3	32,000	2.9	18,500	△3.0	81.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	242,075,556株	27年3月期	242,075,556株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	15,179,681株	27年3月期	15,286,593株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	226,853,263株	27年3月期3Q	226,790,376株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成28年1月28日(木)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済は総じて緩やかな回復基調が持続しているものの、中国経済の減速感の強まりや不確実性を増している中東情勢など世界経済の下振れ懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,246億73百万円となり、前年同期に比べて78億66百万円の減収となりました。また、営業利益は242億61百万円と前年同期に比べて10億25百万円の増益、経常利益は254億27百万円と前年同期に比べて1億91百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は136億60百万円と前年同期に比べて13億69百万円の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、海外向けを中心に販売数量を伸ばしましたが、海外向けは市況価格の悪化、国内向けは原料価格の低下に応じた価格改定を行ったことにより、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、国内製紙用途での需要低迷による影響があったものの、海外手袋用途での旺盛な需要および円安を背景に販売が好調に推移したことから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品関連では、タイ子会社を含めた海外市場での販売が、旺盛な需要を背景として好調に推移し、国内需要も堅調であったことから販売数量を伸ばした一方で、市況価格悪化の影響を受けたため、全体の売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて59億63百万円減少し1,360億79百万円、営業利益は前年同期に比べて27億3百万円増加し162億81百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、医療用途の輸出版売が好調に推移したものの、高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムが顧客の在庫調整の影響を受けました。この結果、高機能樹脂および部材全体では、売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

情報材料関連では、電池材料の売上高は前年同期を上回りましたが、電子材料およびトナーの売上高は前年同期を下回りました。この結果、情報材料全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

化学品関連では、特殊化学品、合成香料ともに競争激化の影響等により販売が振るわず、全体の売上高は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて1億17百万円減少し539億82百万円、営業利益は前年同期に比べて9億89百万円減少し71億83百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は前年同期に比べて18億10百万円減少し362億78百万円、営業利益は前年同期に比べて3億5百万円増加し18億32百万円となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月25日に公表しました業績見通しの数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,151	15,268
受取手形及び売掛金	70,970	70,715
電子記録債権	720	1,326
商品及び製品	43,299	51,550
仕掛品	4,393	4,244
原材料及び貯蔵品	13,543	12,920
未収入金	32,284	36,371
繰延税金資産	3,231	3,301
その他	4,115	5,322
貸倒引当金	△95	△64
流動資産合計	176,609	200,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,455	43,563
機械装置及び運搬具(純額)	55,187	50,028
土地	18,371	18,318
建設仮勘定	11,965	20,223
その他(純額)	6,249	6,069
有形固定資産合計	134,227	138,201
無形固定資産		
その他	5,262	4,459
無形固定資産合計	5,262	4,459
投資その他の資産		
投資有価証券	75,972	65,828
退職給付に係る資産	44	43
繰延税金資産	618	438
その他	7,177	6,825
貸倒引当金	△397	△309
投資その他の資産合計	83,414	72,826
固定資産合計	222,903	215,486
資産合計	399,512	416,440

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,466	75,851
電子記録債務	796	1,608
短期借入金	18,220	30,861
コマーシャル・ペーパー	10,000	—
未払法人税等	3,902	891
賞与引当金	1,977	207
関係会社整理損失引当金	—	3,486
その他の引当金	531	3,619
その他	23,282	23,768
流動負債合計	119,174	140,291
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	20,669	9,490
繰延税金負債	12,908	9,544
退職給付に係る負債	14,209	13,309
その他の引当金	1,461	344
その他	5,460	5,439
固定負債合計	64,707	58,127
負債合計	183,881	198,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	18,514	18,506
利益剰余金	148,285	158,769
自己株式	△12,737	△12,649
株主資本合計	178,273	188,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,350	20,825
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	7,666	6,679
退職給付に係る調整累計額	△3,072	△2,949
その他の包括利益累計額合計	32,943	24,554
新株予約権	304	247
非支配株主持分	4,111	4,384
純資産合計	215,631	218,022
負債純資産合計	399,512	416,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	232,539	224,673
売上原価	170,096	158,552
売上総利益	62,443	66,121
販売費及び一般管理費	39,207	41,861
営業利益	23,236	24,261
営業外収益		
受取利息	95	88
受取配当金	1,054	1,291
雑収入	2,073	729
営業外収益合計	3,223	2,108
営業外費用		
支払利息	575	464
休止固定資産減価償却費	443	267
雑損失	204	211
営業外費用合計	1,223	943
経常利益	25,236	25,427
特別利益		
受取補償金	—	338
その他	931	95
特別利益合計	931	434
特別損失		
固定資産処分損	790	276
減損損失	1,263	1,946
関係会社整理損	—	3,566
その他	138	33
特別損失合計	2,191	5,821
税金等調整前四半期純利益	23,976	20,039
法人税等	8,681	5,910
四半期純利益	15,295	14,129
非支配株主に帰属する四半期純利益	267	469
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,028	13,660

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	15,295	14,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,889	△7,568
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	1,331	△1,134
退職給付に係る調整額	96	123
その他の包括利益合計	9,317	△8,580
四半期包括利益	24,612	5,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,155	5,270
非支配株主に係る四半期包括利益	456	279

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	140,666	54,099	194,765	37,774	232,539	—	232,539
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,376	—	1,376	314	1,690	△1,690	—
計	142,042	54,099	196,141	38,088	234,229	△1,690	232,539
セグメント利益	13,578	8,172	21,750	1,527	23,276	△40	23,236

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△40百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	134,826	53,982	188,808	35,865	224,673	—	224,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,253	—	1,253	413	1,665	△1,665	—
計	136,079	53,982	190,061	36,278	226,339	△1,665	224,673
セグメント利益	16,281	7,183	23,464	1,832	25,296	△1,035	24,261

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,035百万円は、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,031百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「エラストマー素材事業」1,212百万円、「高機能材料事業」735百万円であります。